

# 2022年 安全報告書



叡山電鉄株式会社



## <目次>

1. ごあいさつ	4
2. 基本方針と安全目標	5
(1) 基本方針	
(2) 安全目標	
3. 事故等の発生状況	6
(1) 鉄道運転事故	
(2) 輸送障害	
(3) 電気事故	
(4) 災害	
(5) インシデント	
(6) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保する取り組み	9
(1) 安全重点施策	
(2) 安全教育	
(3) ホームの安全性向上	
(4) 安全性向上のための設備等の改善	
(5) その他	
5. 安全管理体制	18
6. ご連絡先	19

# 1. ごあいさつ

平素は叡山電鉄をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当社は行動規範として「お客さま第一主義で安全とサービスの向上に努め、信頼の輪を広げます。」と定め、社長以下全社員が一丸となって、安全輸送及びサービス改善に取り組んでおります。

さて、2020年に沿線で発生した土砂災害では、437日間にわたり鞍馬線での部分運休を余儀なくされましたが、森林整備や鉄道施設の復旧により、2021年9月には運転再開をすることができ、早や1年を迎えることができました。関係の皆さま方のお力添えに感謝申し上げますとともに、近年、自然災害の脅威が増しているなかで、防災・減災への備えをしっかりと進めてまいります。

また昨今、列車内での傷害事件や放火事件が相次いで発生しておりますが、ハード面、ソフト面の両面から、異常事態への備えと対応能力の向上に努めてまいります。

さらには、新型コロナウイルス感染症については、先行きが見通しにくい状況にありますが、感染拡大防止策を推進しつつ、鉄道事業者としての責務を果たすべく、安全で安定な輸送の維持に努めてまいります。

本報告書は鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

安全への取り組みに終わりはありません。お気づきの点などございましたら、ご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

叡山電鉄株式会社

取締役社長 豊田秀明

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社は、安全に対する基本方針を次のように定め、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全最優先の原則のもと、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとります。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用するとともに継続的な改善を図ります。

### (2) 安全目標

当社は従来「有責運転事故ゼロ」を安全目標とし、2004年10月以降、有責運転事故ゼロを継続してきました。2021年度以降は目標を3つに増やし、全力で取り組んでまいります。

#### 2021年度安全目標（結果）

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| ① 有責運転事故ゼロの継続                        | → 達成  |
| ② 社内原因による輸送障害を昨年度より減少させる（2020年度：1件）  | → 未達成 |
| ③ ヒヤリ・事故の芽報告件数を昨年度より増加する（2020年度：84件） | → 達成  |

#### 2022年度安全目標

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ① 有責運転事故・インシデント発生ゼロの継続                |  |
| ② 社内原因による輸送障害を昨年度より減少させる（2021年度：1件）   |  |
| ③ ヒヤリ・事故の芽報告件数を昨年度より増加する（2021年度：104件） |  |

### 3. 事故等の発生状況

#### (1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故は下の7種類に分類されます。

2021年度は、鉄道運転事故は発生していません。

##### ◆鉄道運転事故の分類

種類	内容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故
列車脱線事故	列車が脱線した事故
列車火災事故	列車に火災が生じた事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)
鉄道物損事故	列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)

#### (2) 輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

2021年度は、輸送障害が4件発生しました。

ご利用のお客さまにはご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

・2021年5月21日（金） 大雨

2021年5月21日、5時25分頃、累加雨量が基準値を超過したため、始発より二軒茶屋駅～市原駅間を運休とした（市原駅～鞍馬駅間は9月17日まで長期運休中）。また7時24分、沿線に避難指示が発令されたため、運休区間を宝ヶ池駅～市原駅間に拡大した。その後天候が回復したため、安全確認を行い10時14分より宝ヶ池駅～二軒茶屋駅間、16時00分より二軒茶屋駅～市原駅間の運転を再開した。

【影響】部分運休 94本

・2021年7月3日（土） 大雨

2021年7月3日、2時50分および3時00分、沿線に大雨に伴う避難指示が発令されたため、始発より修学院駅～八瀬比叡山口駅間、宝ヶ池駅～市原駅間を運休とした。その後天候が回復したため、安全確認を行い6時40分より修学院駅～八瀬比叡山口駅間、7時30分より宝ヶ池駅～市原駅間の運転を再開した。

【影響】部分運休 21本

・2021年8月14日（土） 大雨

2021年8月14日、11時00分、沿線に大雨に伴う避難指示が発令されたため、修学院駅～八瀬比叡山口駅間、宝ヶ池駅～市原駅間を運休とした。翌15日に天候が回復したため、安全確認を行い8時00分より修学院駅～八瀬比叡山口駅間および宝ヶ池駅～二軒茶屋駅間、11時00分より二軒茶屋駅～市原駅間の運転を再開した。

【影響】運休・部分運休 235本

- ・2022年2月26日（土） 二ノ瀬駅構内通路 レール折損

2022年2月26日、6時44分頃、二ノ瀬駅構内の軌道回路が不正に落下した。係員が点検したところ、同駅構内下り線のレールが折損しているのを発見した。以降、市原駅～鞍馬駅間を運休とし、継目新設による仮復旧工事を実施。工事完了後、安全確認を行い10時49分、市原駅～鞍馬駅間の運転を再開した。

【影響】部分運休 26本

【対策】4月に当該レールを交換

### （3）電気事故（感電死傷、電気火災、供給支障事故等）

2021年度は、電気事故は発生しておりません。

### （4）災害（地震、暴風雨、豪雪等による被害）

2021年度は、災害による鉄道施設または車両への被害は発生しておりません。2020年7月8日（水）に発生した土砂災害のため、市原駅～鞍馬駅間を運休していましたが、復旧作業を行い、2021年9月18日（土）より運転を再開しました。長期間にわたり、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### （5）インシデント（事故の兆候）

2021年度は、インシデントは発生しておりません。

### （6）行政指導等

2021年度は、国土交通省からの行政指導等は、ありませんでした。



## 4. 輸送の安全を確保する取り組み

### (1) 安全重点施策

2021年度の安全重点施策を次のように定め、取り組んでまいりました。

#### 1. 安全管理体制の確立

- ① 鉄道従事員として、職責の自覚と確実な業務の実施
- ② 規程類の再点検と教育
- ③ 計画的な教育・訓練の実施および部署・階層を超えたコミュニケーションの  
充実
- ④ リスク管理の強化（ヒヤリ事故の芽活動、内部監査等）

#### 2. 安全関連投資の実施

- ① 貴船口付近土砂災害からの早期運転再開
- ② 修学院車庫分岐器更新
- ③ 防災対策

## (2) 安全教育

お客さまの安全を確保するため、全社員を対象に各種教育訓練、業務研修会等の教育を行っております。2021年度に実施した主な教育・訓練は以下の通りです。

### ① 2021年6月20日 ニノ瀬駅火災消防訓練

ニノ瀬駅付近の山林での火災発生を想定した訓練を、地元の方々と合同で行いました。



### ② 2021年7月15日 鉄道テロ対応訓練

列車・駅構内に爆発物が仕掛けられた状況を想定し、お客さまの避難・誘導を行うとともに、不審物の搜索、不審者との対応等の訓練を行いました。





③ 2021年9月13～15日 鞍馬線運転再開に伴う習熟訓練・業務研修

約1年2ヶ月振りとなる運転再開区間（市原駅～鞍馬駅間）の習熟運転を実施し、安全設備や工事用通路、徐行制限区間等の確認を行いました。



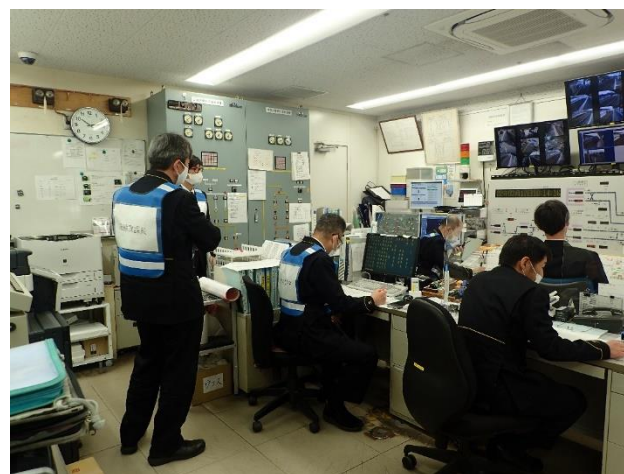
④ 2021年12月23日 出町柳駅火災消防訓練

出町柳駅での火災発生を想定した訓練を京阪電鉄・駅構内店舗と合同で行いました。



⑤ 2022年3月17日 総合防災訓練

地震発生を想定し、安全確保と避難誘導、施設点検と復旧計画の立案等を行いました。





### (3) ホームの安全性向上

ホームの安全性向上を目指し、各種設備の改善等を計画的に進めているほか、視覚障害のある方への「見まもり・声かけ」の強化、お客さまへの声かけ啓発を促進しています。



## (4) 安全性向上のための設備等の改善

安全性向上のため、計画的に設備、車両等の改善に取り組んでおります。2021年度に実施した主な工事は以下の通りです。

### ① 貴船口駅付近土砂災害復旧工事

2020年7月に発生した土砂災害箇所について、法面の整備を行うとともに（京都府による治山事業）、線路周りの各種設備を更新しました。



### ② 修学院車庫分岐器重軌条化

修学院車庫の分岐器を重軌条化するとともに、合成まくらぎ化、道床交換等を実施し、軌道の安定性が向上しました。



### ③ A T S 地上子増設

A T S 地上子を増設し、駅到着時の保安度を向上しました（二軒茶屋駅・市原駅）。



二軒茶屋駅



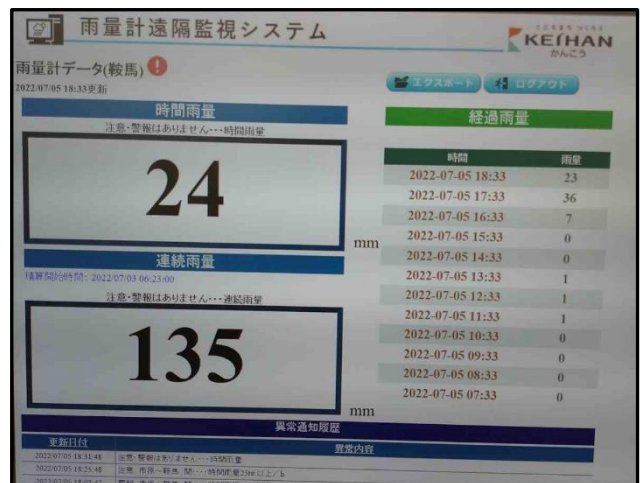
市原駅

### ④ 雨量計設置

鞍馬駅に雨量計を設置しました。これにより、沿線の気象状況をより早く、正確に把握できるようになりました。



雨量計本体



監視画面（運転指令所）

## (5) その他

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、駅や車両内で各種対策を実施しています。また、放送やポスターでマスク着用やテレワークの推進、会話を控えるなど予防対策の啓発を行っています。



駅改札口に遮蔽シート設置



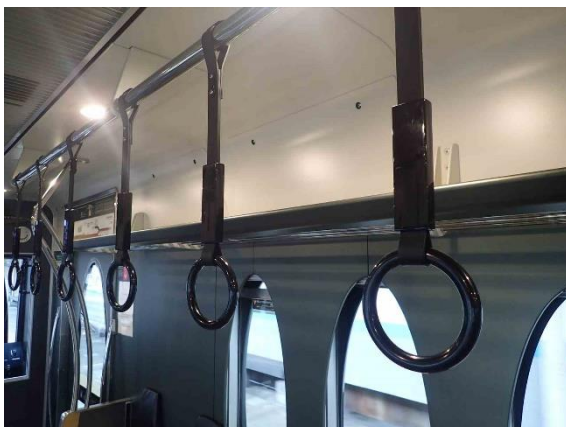
駅にアルコール消毒液設置



車内換気（一部の窓を開放）



遅延証明書のWeb発行（非接触化）



車内の抗菌・抗ウイルス施工



駅に空間除菌消臭装置を設置



沿線の地域包括支援センターと連携して、認知症の方にも外出を促すイベント「駅カフェ」を定期的で開催しています。このような取り組みを通して、職員の認知症に対する理解向上と、誰もが安心して公共交通機関をご利用いただける環境づくりに貢献していきたいと考えております。



**ドラえもんのごとくドア 未来への出発【京都発】駅カフェ**  
認知症になっても 外出をあきらめない!!

喫茶 軽食 焼き芋  
演奏会 Michiyo & イフ  
八瀬登山口駅 周辺散策  
当事者の方が プース担当 として活躍  
下坂さんと 友達になろう

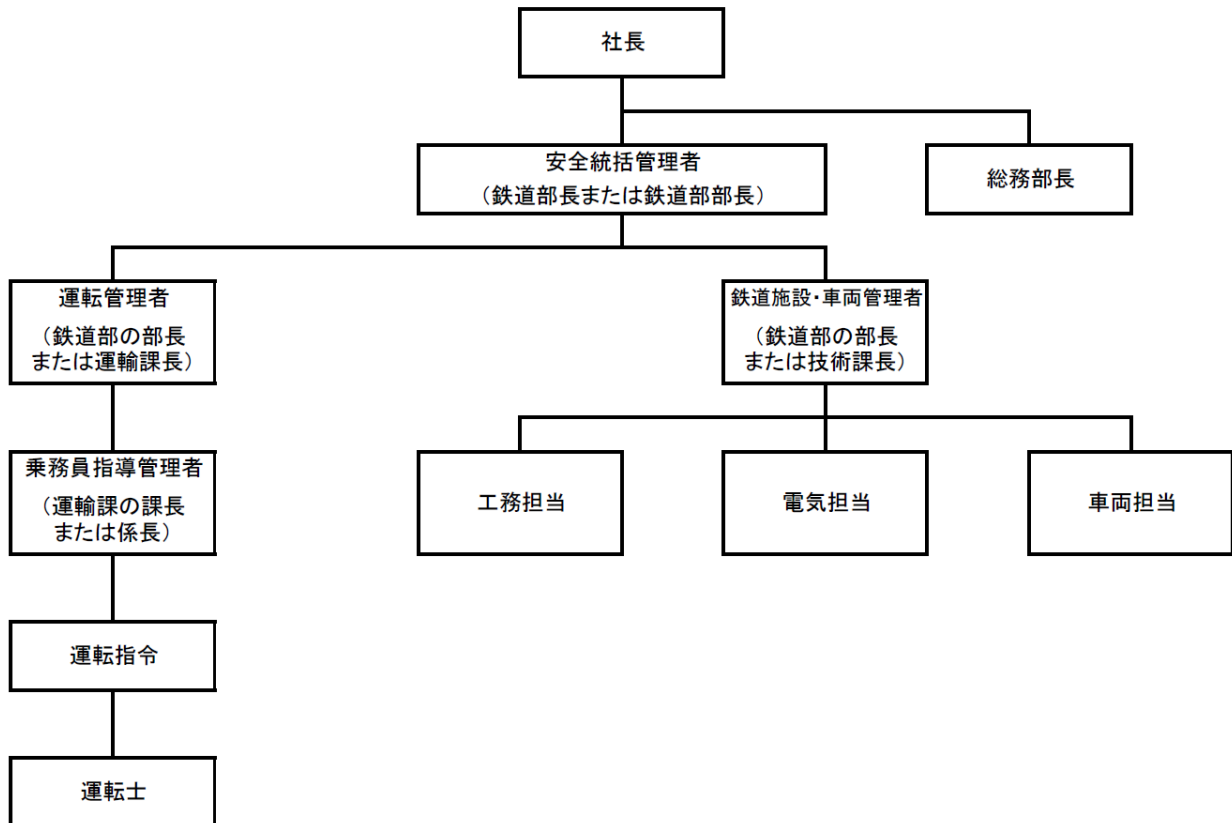
**対象** 電車でお越し頂けるご本人・ご家族 ※小雨決行  
**定員** 70名程度 医療・介護従事者の方は当事者の方とご参加下さい。  
**日時** 令和3年11月1日(月)午前10時00分～午後12時30分  
**場所** 叡山電鉄 八瀬比叡山口駅 午前9時30～受付開始  
**費用** 200円 (ドリンク代として)



## 5. 安全管理体制

当社では、輸送の安全を確保するために「安全管理規程」を定め、社長をトップとする安全管理体制を下図の通り構築しています。

### ◆安全管理体制図



### ◆管理者などの役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関し、指示を行い最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
鉄道施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設および車両に関する事項を統括管理する。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画等の事項を総合的に管理する。

## 6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見がありましたら以下へ  
お願いします。

叡山電鉄株式会社 総務部

〒606-8007 京都市左京区山端壱町田町8番地の80

TEL 075-702-8110 / FAX 075-702-4522

※土・日・祝日と年末年始を除く 9:00~17:00